

平成30年度 教育目標および努力目標具現のための評価項目一覧

教育目標	努力目標	実践事項	7月	12月	3月	自由記述
夢にむかって、学び続ける子ども	○児童に基礎基本の確実な定着と活用力の向上を図ります。	◎基礎的・基本的な知識・技能の定着	2.8	3.0	3.2	
	・学習のめあて、まとめ 100% ・各テスト平均正答率 80%以上  ・学年の読書量達成 100%	・魅力的でまとめと整合性のある学習課題の設定	2.7	3.1	3.4	○「授業改善チェックシート」を活用して、毎週、自己の授業を振り返りを実施したことで、課題意識を持って授業に臨むことができた。 ○休み時間や放課後の時間を利用して、補充的な学習に取り組んだ。 ●支援を必要とする児童への充実と併せて、他の児童への指導（理解）の充実を図ることも必要であるという認識が高まった。
		・ペア・グループなどの学習形態の工夫	2.7	3.2	3.4	
		・練習・習熟の時間の確保や個に応じた指導の充実	2.6	2.6	3.0	
		・特別な支援を必要とする児童への支援の充実	2.6	2.9	2.8	
		・メディアセンター、もったいない図書館の活用	3.2	3.2	3.5	
	○活用力の向上	2.6	2.8	3.0		
	・学校が学力向上の努力をしていると答える保護者100%	・集団思考の場における話合いのコーディネートの充実	2.7	2.9	3.2	○教師主導の授業から、子ども達の意見や考えをつなぐ教師のコーディネート力の向上を意識して、1年間取り組んできた。 ○各種検定への補助（1人1回1,000円）をすることで、受検者が増加した。 ●アウトプットする場の位置づけはできてきているので、指導者がアウトプットする内容を明確にして授業に臨むことも意識していきたい。
		・理解を深める話す・書くアウトプットの場の位置づけ	2.7	2.9	3.1	
		・各種検定テストへの挑戦（漢字・英語）	2.3	2.6	2.7	
○子どもの学習意欲を育て、主体的に学ぶための学習環境を整えます。	○主体的な学習態度や学習習慣の確立	2.9	3.0	3.1		
・家庭学習実施率 100%	・「家庭学習スタンダード」を活用した取組の習慣化	3.1	3.0	3.1	○家庭での学習計画を立てさせ、何をやるのかを明確にできるように指導した。 ○学習の約束を掲示し、意識化を図った。 ●家庭学習を提出できない児童がほぼ決まっているため、個別の対策が必要である。	
	・「わかる・できる」授業実践による学びに向かう力の育成	2.7	2.9	3.2		
	・学習の約束の徹底	2.9	3.1	3.2		
○体験的・探究的な学習を充実し、体験的・探究的な学習を充実し、未来につながる学習を展開します。	◎体験活動の充実	2.3	2.5	2.9		
	・体験の充実による探究型のふるさとの学びの実践	2.2	2.5	2.9	●様々な体験活動を実施しているが、単発の体験に終わらないように計画的に指導していくことが必要である。	
	・ALTとのTTによる外国語科・外国語活動の充実	2.4	2.5	2.9		
自分もほか	○子どもの自己有用感を高め、自他のよさを尊重する心を育てます。	◎道徳教育の充実	2.4	2.5	2.6	
	・道徳の時間の完全実施（1年生34時間、2～6年生35時間） 100%	・『考え、議論する』特別の教科道徳への質的転換	2.6	2.8	3.0	○校内研修を通して道徳科としての意識が高まり、授業の質的転換について取り組むことができた。 ○全学級の授業参観で、道徳の授業を保護者に公開できた。 ●体験活動と道徳の授業の関連を意識して指導していくことが必要である。 ●子ども達の活動や言動を見取り、賞賛や価値付けをしていくことで自己肯定感を高められるように今後も継続的・意図的に支援していきたい。
		・ふくしま道徳教育資料集の活用	2.2	2.2	2.4	
		・体験活動の充実による自己肯定感の育成	1.8	1.9	1.9	
		・道徳の授業の保護者・地域への公開	2.2	2.7	2.6	
		・友だちのよいところ探し、互いを認め合う場の設定	3.4	3.1	3.2	
◎人権教育の充実	3.4	3.2	3.3			
・思いやりの心を育てていると答える保護者 100%	・人権教室の実施による人権意識の啓発	3.3	3.2	3.4	○年間を通して、毎月1日を「人権の日」として説話を実施することができた。 ○全クラスにおいて「やさしさ」についての校長講話を実施した。	
	・人権の日、人権教育強化週間の取組の充実	3.4	3.2	3.2		

平成30年度 教育目標および努力目標具現のための評価項目一覧

教育目標	努力目標	実践事項	7月	12月	3月	自由記述
の人も大切に する子ども	○児童が進んで他の人のために役立つ、学校のために役立つ、家族のために役立つ心を育てます。	○主体的な児童会活動・係活動の実践	2.8	2.8	3.0	
	・委員会活動でのプラスワン 100%	・委員会活動・係活動のプラスワンの取組	2.9	2.9	3.1	○縦割り班を生かし、大縄やドッジボールなどの異学年交流を積極的に実施できた。 ●お手伝いの奨励について、家庭と協力して強化していきたい。
		・縦割り班活動の充実	2.9	2.9	3.1	
		・家族のために役立つお手伝いの奨励	2.5	2.6	2.8	
	○子どもに元気なあいさつ、返事、正しい言葉遣いを身につけます。	○基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成	3.5	3.4	3.5	
	・子どものあいさつ・返事 100%	・明るいあいさつキャンペーンによる指導の充実	3.7	3.4	3.6	○あいさつ運動を継続して実施できた。子どもをさん付けで呼ぶなど、教師の言葉遣いについても意識して取り組むことができた。
		・よりよい言語環境によるあたたかい言葉づかいの奨励	3.3	3.3	3.4	
		○児童理解に立った生徒指導の充実	3.2	3.3	3.3	
	・不登校ゼロ、トラブル解消 100%	・児童の家庭環境、教育的ニーズ把握と組織による対応	3.4	3.3	3.4	○トラブル対応については、丁寧な聞き取り（事実確認）と確実な解決を心がけ、組織として対応することができた。
		・子どもの成長につなげるトラブル解決	3.3	3.2	3.4	
・SC・SSW・関係機関との連携強化		3.0	3.3	3.1		
つよい意志と 身体をもつ、 たくましい子ども	○授業および健康教育の充実を通して、命を大切にすることを育てます。	◎体育の授業の充実	2.5	2.9	3.2	
	・運動・身体づくりプロ実施率 80% ・体力テスト全種目で全国平均突破 50%	・問題解決型の体育学習への転換	1.9	2.6	2.7	○体育の授業で、ワークシートの活用が増加し、めあてを明らかにして取り組むようになってきた。 ○外部講師（忍者ナイン、菊田明博先生）を招聘し、研修を深めることができた。
		・運動・身体づくりプログラムの確実な実施	3.4	3.6	3.6	
		・体育の時間に汗をかく適切な運動量の確保	3.1	3.0	3.4	
		・ワークシートの積極的な活用	1.6	2.3	2.9	
	○子どもが自分の目標を持ち、日常的な体力づくりに取り組んでいく力を育てます。	◎体力向上にむけた取組の充実	2.8	3.1	3.0	
	・欠席者ゼロ 100日以上	・体力向上推進計画の改善による主体的体力づくり	2.5	2.9	2.7	○日課表を工夫し、体力向上タイムを毎日実施できるようにし、外遊びの時間も確保することができた。 ●体力テストの結果分析が遅れ、学校の課題に基づいた取組をすぐに実施できなかった。
		・体力向上の時間での継続的な取組	3.0	3.2	3.1	
		・外遊びの時間確保と内容の工夫による運動量増加	2.9	3.0	3.0	
	○子どもが自分の身体に関心をもち、健康な生活習慣を身に付けます。	○食に関する指導の充実	2.7	3.0	3.2	
・朝ご飯摂取率 100%	・早寝・早起き・朝ごはんの習慣化	3.0	3.0	3.3	○実態把握に努め、生活習慣が確立できるように個別に家庭に協力をお願いしてきた。 ○学校栄養師等と食育の指導を計画的に実施できた。	
	・GTや養護教諭とのチームティーチングの実施	2.3	2.8	3.1		
	・帯の時間を生かしての食育指導の充実	2.9	3.1	3.3		
○健康指導の充実	2.5	2.9	2.9			
・むし歯治療率 80%	・歯みがき技能の向上、歯科治療による健康保持	2.6	3.1	3.0	○むし歯、肥満等についての目標値を達成することができた。 ○虫歯治療については、教員が歯科医へ連れて行く、PTAに呼びかけてもらうなど、治療率100%達成へ向けて積極的に取り組んだ。	
・肥満児童 10%	・健康相談の実施による肥満解消	2.9	2.9	3.0		
・健康教育に関する授業公開による積極的な啓発	2.1	2.6	2.8			

平成30年度 教育目標および努力目標具現のための評価項目一覧

教育目標	努力目標	実践事項	7月	12月	3月	自由記述
		○安全指導の徹底	2.7	2.7	2.9	○メディアコントロールへの取組を家庭と協力して実施できた。 ●SNSやゲーム依存等のトラブルが増加してきている。今後さらに、児童・保護者への指導を推進していく必要がある。
		・保護者との連携によるメディアコントロールの推進	2.6	2.8	3.1	
		・関係機関との連携による安全指導の徹底	2.8	2.7	2.7	
ふるさと、日本、世界をみつめる子ども	○ふるさとを知り、ふるさを大切にすると態度を育てます。	◎矢祭山緑の少年団活動の充実	2.1	2.2	2.3	●郷土愛の醸成に向けて、豊かな体験活動や地域交流等の実践を積み重ねていけるように総合的な学習の時間のカリキュラムを工夫していく。
		・体験的活動の価値付けと充実	2.4	2.4	2.5	
		・グローバルな実践の積み重ねによる郷土愛の醸成	1.9	1.9	2.1	
		・自主的・自発的活動の奨励	2.1	2.2	2.4	
	○ふるさとの自然、文化、歴史を愛し、未来を担う子どもを育てます。	◎やまつりふるさと教育の充実	2.2	2.7	2.9	○徐々に意識が高まり、評価も上がってきている。 ●学習の成果を地域に発信することや地域に貢献する活動する場を設定していきたい。
	・矢祭町の良さが言える児童 100%	・各教科・道徳科・特別活動との関連の明確化	2.3	2.6	3.0	
		・ふるさとの人材・学習素材の積極的な活用	2.3	3.1	2.8	
		・体験的・探究的な学習の工夫	2.3	2.6	2.9	
	・学習成果をふるさに発信 100%	・郷土資料「わたしたちのきょうと矢祭町」の活用	2.7	2.5	3.0	
		・学習成果をふるさに発信する場の設定	1.6	2.6	2.8	
	○キャリア教育の充実	1.9	2.5	2.3		
・将来の夢を持つ児童 100%	・地域に生きる人から学ぶ場の設定	2.3	3.0	2.4	●今年度の中学生から学ぶ機会の場の設定はこれから実施予定。	
	・中学生から学ぶ機会の設定	1.2	1.9	2.0		
	・児童全員が将来の夢を持つための仕掛けの実施	2.2	2.5	2.5		
○ふるさとを愛し、主体的に貢献する子どもを育てます。	○地域に貢献する活動の奨励	2.1	2.7	2.6	○特設合唱部がユアアイホームを訪問し、合唱を披露することができた。 ○公民館・もったいない図書館等の活動に多くの児童が参加した。 ●地域行事に参加する児童が固定化されている。	
・地域行事に参加した児童 75%	・特設部の施設訪問の実施	2.5	3.4	3.3		
	・地域行事への児童の積極的な参加	2.4	2.7	2.7		
	・児童作品の地域施設への展示	1.4	2.4	2.1		
	・ボランティア活動の奨励	2.2	2.4	2.4		

平成30年度 教育目標および努力目標具現のための評価項目一覧

教育目標	努力目標	実践事項	7月	12月	3月	自由記述
教師としての資質と指導力の向上	○児童をよく理解し、保護者や地域から信頼される教師	・児童へのきめ細かい指導と適切な評価 ・定期的な教育相談、機をみての教育相談や面談、家庭訪問の実施など迅速な対応 ・学校だより、学級通信や連絡帳などを用いたきめ細やかな連絡	3.0	3.3	3.4	○毎月の学校生活アンケートを通して、児童の悩みや困りの把握に努め、機会を捉えて相談を実施することができた。 ○学校だより、学級通信を定期的に発行することができた。また、マチコミ（一斉メール）を利用して最新情報を提供することができた。
	○心身ともに健康で前向きな教師	・悩みを抱えず、報連相を適切に行い、組織での対応 ・校務分掌の効率的な処理と公私の時間のバランスのとれた適正な勤務 ・児童の問題行動をチャンスと捉えた前向きな指導	3.3	3.5	3.5	○働き方改革を意識付け、業務改善に努めた結果、残業時間が軽減した。 ○報告・連絡・相談が適切に行われ、課題に対して組織的に対応することができた。
	・学校施設午後8時、超過勤務1ヶ月あたり80時間以内の実現		2.4	2.8	2.7	
			3.0	3.0	3.1	
	○資質の向上を目指し、自己研鑽に励む教師	・人事評価制度の活用による具体的な目標の設定、実践、評価、改善 ・向上心を持ち、常に自分を高めようとする主体的な研修の実践 ・児童の言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力を高めるための話し合いのコーディネート力の向上	2.9	2.9	2.9	○一人一研究授業の実践を行うことができた。また、意欲的に研修会に参加する姿勢が多く見られた。
	・ひとり1研究授業の実践		2.9	3.1	2.9	
			2.6	2.9	3.1	
	○主体的に活動し、協調性のある教師	・前年度の反省を生かし、校務分掌に責任を持った取組 ・学校全体を視野に入れ、組織の一員としての自覚と責任のある行動 ・提出物や報告期日の遵守	2.4	2.6	3.0	
			2.9	3.1	3.2	
			2.7	2.9	3.3	
	○高い倫理観と自覚を持つ教師	・不祥事根絶行動計画の理解と組織による不祥事根絶 ・当事者意識を強く持った不祥事根絶に向けた取組	3.1	3.2	3.2	○当事者意識を高められるように、機会を捉えて注意喚起を行った。 ●交通事故に関するヒヤリハットが数件見られた。
	・不祥事ゼロ、交通事故ゼロ		3.2	3.6	3.5	
学校運営	○学校評価の機能を生かした学校運営	・学校評議委員会による学校評価の実施、学校運営の改善 ・学校評議委員会による保護者、地域とつなぐ教育の実現	1.9	2.1	2.4	●ホームページの更新が滞ってしまった時期があった。 ●学校評議委員会による第三者評価の実施を次年度は実現したい。
	○開かれた学校の推進	・学校だより、学級だよりの発行とホームページの定期的な更新による学校教育活動の発信 ・学校の授業を地域住民に公開する場の設定、校長と地域住民の面談の実施	2.7	2.9	2.8	
			2.4	2.3	2.4	
施設・設備	○学習や運動に適した教育環境づくり	・全職員による安全点検の実施と専門家を招聘しての安全管理 ・学習や運動に適した施設設備の整備と充実	3.0	2.9	3.1	○安全点検を実施し、営繕の必要などところはできるだけ早く対応できるようにした。 ○専門家を招聘して消火栓の使用方法について研修会を実施できた。 ●業者との関係で修繕に時間がかかってしまうものもあった。
			2.9	3.0	3.0	